

乳がん検診を受診される方へ

新型コロナウイルスのワクチン接種に伴い、接種側の片側性リンパ節腫大(特に腋窩リンパ節腫大)がみられることがあるため、日本乳癌検診学会では、**ワクチン接種前に乳がん検診を受けるか、接種後少なくとも6～10週間の間隔をおいて施行すること推奨しています。**

一方で、リンパ節腫大があってもワクチン接種の情報があれば画像診断で見分けることが容易となります。

当施設では、ドックや巡回車の事前予約のある方に別の日にちを再度予約して頂くことは現実的でないと考え、ワクチンの接種状況を確認させて頂いた上で、日にちをずらすことなく実施する方針としております。

より正確な判定のため、ワクチンの接種状況をできるだけ正確にお知らせ頂きますよう、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

島根県環境保健公社 乳がん検診精度管理代表委員 吉川和明